



もっと勉強しさらなる技術向上を



全国左官技能競技大会で準優勝
宮地 健さん・36歳
高花台一丁目

第42回全国左官技能競技大会が静岡県で行われ、関東ブロックの代表として初出場ながら準優勝に輝いた。この大会は隔年で開催され、全国10ブロックから選抜された優秀技能者によって競われる。

「今年の課題は高さ2・35m、横2・3m、奥行き1mの作品。その見栄えや寸法、施工方法などの仕上がりを審査員が評価するんです」
トップとの差はわずか1点。優勝でもおかしくない出来だったというのが周囲の声だ。

「2日半の期限内に課題を作り上げるんです。仕上げがうまくできていくか、汚れなどがないか気を付けながら、何とか完成させました。作業が終わるとへとへとでしたね」
親方の協力もあり、7月から2カ

月間、通常の仕事から離れて大会の準備に専念した。

「時間との闘いで、自分ではあまり内容に満足していません。だから順位は気にしていません」

父親も左官。その影響もあり、小学生のときの文集でも将来は親と同じ仕事に就きたいと書いていた。それを実現し、二十歳からこの道へ。

「両親や家族も会場に来てくれて、自分が競っている姿を子どもたちに見せられて良かった。自分はようやくこの道の入り口に立ったところ。まだまだこれからです。もっと勉強して知識を増やし、技術を磨いていきたいです」

話す言葉は謙虚だが、人一倍の向上心がうかがえる。左官の道を究めることに、意欲を燃やしている。

朔太郎が愛した音色が街に響く

「マンドリンのまち前橋」朔太郎音楽祭2007を10月6日、7日に開催しました。6日は中心商店街など市内8カ所で街角コンサート。美しい音色が街に響き、買い物客らは足を止め、耳を傾けていました。7日は市民文化会館で四重奏コンクールと演奏会。訪れた人は、プロ演奏者らが奏でる繊細なハーモニーに酔いしれていました。



若い芽のポエム
昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★入選 永遠のライバル

桃井小6年 高橋 栞奈さん

姉の声がせまってくる。わくわくしてくる、にやりと口元が緩む。

テストは負けた。しまった。私の解けなかった問題を解かれた。「あんたよりも勉強してんだからねっ」

鼻息荒く姉がほえる。得意そうな顔で、憎たらしい

ぎりぎり胸を締付ける音がする

歳がいはい何もかもまけたくない大人になったら、頭もよくなってる

今はまだだ。負けない努力をするだけだ。

一歩ずつ、自分を信じて

苦しくて、なみだしている姉がい

ると、私も落ち着かなくなる。

心が重くなる。さびしくなる。

やっぱり元氣百パーセントじゃなくちゃ

そんな姉を乗り越える。

風車の牧場でイベント

大胡ぐりーんふらわー牧場で10月21日、ウインドミルフェスティバルを開催。園児の遊戯やフラダンス、だんべえ踊りなどが披露されました。模擬店や芋煮会なども行われ、会場内は笑顔でいっぱい。たくさんの家族連れでにぎわいました。



新しい研究分野を紹介

10月20日、前橋工科大生物工学科発足記念シンポジウムを前橋テルサで行いました。これは同学科の目指す教育研究を広く紹介することが目的。食品の安全や農芸化学などの先進事例の発表に、多くの人が熱心に聞き入っていました。